

都市再生整備計画 事後評価シート
寄居駅周辺地区

令和6年3月

埼玉県寄居町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	寄居町		地区名	寄居駅周辺地区			面積	66.6ha		
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	2,518.4百万円	国費率	47.4%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(都計3・1・25寄居駅南口駅前広場)、道路(都計3・4・5中央通り線)、道路(町道3967号線)、下水道(寄居第1処理分区汚水枝線)、地域生活基盤施設(賑わい創出交流広場)、地域生活基盤施設(自転車駐車場)、地域生活基盤施設(観光案内板設置)、高質空間形成施設(路地を活かした散策ルート整備)、高質空間形成施設(電線地中化(都計3・4・5中央通り線等))										
		提案事業	地域創造支援事業(まちなか住宅団地整備支援事業)、地域創造支援事業(まちなか住宅取得支援事業)、地域創造支援事業(まちなか出店支援事業)、事業活用調査(事業効果分析事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名										
		提案事業	削除/追加の理由										
	新たに追加した事業	基幹事業	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響										
		提案事業	地域生活基盤施設(駅前拠点広場)、高次都市施設(駅前拠点施設(地域交流センター・観光交流センター))										
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	指標1	居住人口の社会増減数	人	-14	H24からH28の平均	+6	H30からR4の平均	-	+9.6	○	あり	寄居駅南口駅前広場、中央通り線、寄居駅南口駅前拠点施設・広場、賑わい創出交流広場等、住環境の充実に資する施設整備を行うとともに、寄居駅周辺地区の特性を生かしたまちづくりの情報発信等を積極的に行ったことが、目標値の達成につながっている。	-
	指標2	歩行者・自転車交通量	人/日	平日5,824 休日5,591	H27	平日6,373 休日6,173	R4	-	平日4,433 休日3,627	×	あり	新型コロナウイルスまん延防止による外出自粛並びに各種イベント等の中止の影響を受けたことにより、調査対象地区の歩行者・自転車交通量が減少したため、目標値を下回る結果となった。	なし
	指標3										あり		
	指標4										あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	事業完了後、寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場において、季節の祭事や各種イベントが開催されるようになる等、寄居駅南口周辺地区における賑わい創出が推進されつつある。 寄居駅南口駅前広場及び中央通り線の整備により道路照明が設置され、夜間でも安心して寄居駅南口周辺を通行することができるようになったため、当該エリアの防犯機能を向上させることができた。併せて、地域の防犯意識の向上も図ることができた。												
	実施内容												
5)実施過程の評価	モニタリング	実施状況				今後の対応方針等							
	官民連携による取組	都市再生整備計画に記載し、実施できた											
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
持続的なまちづくり体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 公共施設整備等の検討にあたり、必要に応じて市場調査やワークショップ等を実施し、ニーズの把握に努めていく。								
	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 当該団体と締結した「寄居都市計画道路中央通り線における街路樹維持管理協定」に基づき、官民が連携して街路樹の維持管理を行っていく。								
	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2-2 地区の概要

寄居駅周辺地区(埼玉県寄居町) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：魅力あるコンパクトな市街地の形成による町全体の活力創造 小目標①：都市機能の集積・強化に必要なコンパクトな市街地の形成 小目標②：観光力の強化と「歩いて得るまちづくり」による賑わいのある市街地の再生	居住人口の社会増減数	単位：人	-14	H24からH28の平均	+6	H30からR4の平均	+9.6	H30からR4の平均
	歩行者・自転車交通量	単位：人/日	平日5,824 休日5,591	H27	平日6,373 休日6,173	R4	平日4,433 休日3,627	R4
まちの課題の変化	【寄居駅南口へのアクセス道路が狭く一方通行となっており、バスなどの大型車両が乗り入れ出来ないことから、交通結束機能が低下している。 →寄居駅南口駅前広場及び中央通り線を整備したことにより、交通結束機能の向上を図ることができた。 【大型商業施設の出入に伴い、交通量の増加が予想される町道が未改良の状況である。 →当該町道の改良が完了したことにより、交通量増加への対応が可能となった。附帯する未買収の用地については、今後も継続して交渉を進めていく。 【人口減少・高齢化に伴い地区内の賑わいが失われつつあり、魅力あるコンパクトな市街地の形成が必要である。 →寄居駅周辺地区の賑わい創出及びコンパクトシティ化を図るため、当該地区への住み替えに対する支援(まちなか居住促進補助金)を行った。また、本事業による施設整備により、良好な居住環境が形成された。今後は、寄居駅周辺地区への居住促進を強化するとともに、良好な居住環境の維持・創出に向け、本事業で整備した施設の適切な維持管理を行っていく。 【観光資源が点在しているため、観光機能の再整備及び観光ルートを設定し、観光力の強化を図る必要がある。 →寄居駅南口周辺地区の観光分野におけるインフラ整備が完了したことにより、観光来訪者が増加している。また、寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場が季節の祭事や各種イベントで利用されるようになったため、地元住民と観光来訪者の交流の機会が創出された。今後は、本事業で整備した施設や既存公共施設の特性を生かした観光ルートの構築及び観光資源の開拓を進めていく。							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	【寄居駅周辺地区への居住促進】 →本事業で整備した施設や既存公共施設において、利用しやすい環境・サービス提供に向けた適切な維持管理を行うとともに、まちなか居住促進事業に関するPR強化を行う。 【地元住民と観光来訪者の交流促進】 →寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場を積極的に活用し、地元住民と観光来訪者の交流促進を図る。 【観光ルートの構築及び新たな観光資源の開拓】 →本事業で整備した施設や既存公共施設の特性を生かした観光ルートを構築するとともに、観光資源の開拓を進めていく。							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1ー① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	都計3・1・25寄居駅南口駅前広場	604	A=3,200m ²	631	A=3,200m ²	施工方法の変更による事業費の増額	影響なし	●	
道路	都計3・4・5中央通り線	750	L=230m	852	L=230m	詳細設計の工事費算出結果に基づく事業費の増額	影響なし	●	
道路	町道3967号線	400	L=240m	200	L=240m	買収地の難航及び設計額に対する請負額の差額による減額	影響なし	●	
下水道	寄居第1処理分区污水枝線	13	L=100m	13	L=113m	詳細設計の結果に基づく枝線延長の変更	影響なし	●	
地域生活基盤施設	賑わい創出交流広場	140	A=2,500m ²	76	A=1,200m ²	広場の面積変更及び詳細設計の結果に基づく事業費の減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	駅前拠点広場	—	—	199	A=1,100m ²	地区全体としての賑わいづくりを推進するため、事業を追加	まちづくりの目標達成においてはプラスの影響があるが、定量化する指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	自転車駐車場	10	A=160m ²	3	A=160m ²	施工内容の変更による事業費の減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	観光案内板設置	10	11基	15	17基	看板設置数の変更に伴う事業費の増額	影響なし	●	
高質空間形成施設	路地を活かした散策ルート整備	35	L=230m	29	L=230m	設計額に対する請負額の差額による減額	影響なし	●	
高質空間形成施設	電線地中化(都計3・4・5中央通り線等)	250	L=710m	222	L=710m	設計額に対する請負額の差額による減額	影響なし	●	
高次都市施設	駅前拠点施設	—	—	121	A=267m ²	地区全体としての賑わいづくりを推進するため、事業を追加	まちづくりの目標達成においてはプラスの影響があるが、定量化する指標及び数値目標は据え置く。	●	
高次都市施設	駅前拠点施設	—	—	103	A=269m ²	地区全体としての賑わいづくりを推進するため、事業を追加	まちづくりの目標達成においてはプラスの影響があるが、定量化する指標及び数値目標は据え置く。	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	まちなか住宅団地整備支援事業	30	補助金交付	8	補助金交付	実績に基づく事業費の減額	影響なし	●	
	まちなか住宅取得支援事業	45	補助金交付	17	補助金交付	実績に基づく事業費の減額	補助金交付による居住人口の増加に影響あり	●	
	まちなか出店支援事業	24	補助金交付	15	補助金交付	実績に基づく事業費の減額	影響なし	●	
事業活用調査	事業効果分析事業	12	事業効果の検証、分析に関する調査の実施	17	事業効果の検証、分析に関する調査の実施	実施内容の変更による増額	影響なし	●	
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
駅前ショッピングセンター施設活用事業		寄居駅周辺地区		民間事業のため把握不可	H30～H34	H30～R4	当該施設の活用は未だ実現しておらず、施設の経年劣化が進行している。	
大型商業施設出店事業		寄居駅周辺地区		民間事業のため把握不可	H29～H30	H29～H30	平成30年度に大型商業施設が出店したため、商業拠点としての寄居駅南口周辺地区が誕生した。	
川の国埼玉はつらつプロジェクト		寄居駅周辺地区	30	30	H29～H31	H29～R1	県との共同事業として荒川遊歩道を整備し、自然や歴史を楽しめる観光施設として活用することで、観光力の強化を図ることができた。	
鉢形城公園整備事業		鉢形城跡	1,090	1,090	H30～H34	H30～R4	事業内容である「鉢形城跡における発掘及び調査」は未完了であるため、今後も継続して事業を進めていく。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)				目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	居住人口の社会増減数	人	【計測手法】寄居町住民基本台帳データ 【評価値の求め方】平成30年～令和4年の平均	-	-	-14	H24からH28の平均	+6	H30からR4の平均	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定見込み	+9.6	事後評価	○		
指標2	歩行者・自転車交通量	人/日	【計測手法】現地実態調査 【評価値の求め方】令和4年12月に中心市街地で実施する調査による	-	-	平日5,824 休日5,591	H27	平日6,373 休日6,173	R4	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
										事後評価	確定見込み	平日4,433 休日3,627	事後評価	×		
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	寄居駅南口駅前広場、中央通り線、寄居駅南口駅前拠点施設・広場、賑わい創出交流広場等、住環境の充実に資する施設整備を行うとともに、寄居駅周辺地区の特性を生かしたまちづくりの情報発信等を積極的に行ったことが、目標値の達成につながっている。	特になし
指標2	新型コロナウイルスまん延防止による外出自粛並びに各種イベント等の中止の影響を受けたことにより、調査対象地区の歩行者・自転車交通量が減少したため、目標値を下回る結果となった。	特になし
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・事業完了後、寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場において、季節の祭事や各種イベントが開催されるようになる等、寄居駅南口周辺地区における賑わい創出が推進されつつある。
 ・寄居駅南口駅前広場及び中央通り線の整備により道路照明が設置され、夜間でも安心して寄居駅南口周辺を通行することができるようになったため、当該エリアの防犯機能を向上させることができた。併せて、地域の防犯意識の向上も図ることができた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
寄居駅南口駅前広場、寄居駅南口駅前拠点広場及び賑わい創出交流広場の整備に係るワークショップを開催した。	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】全4回 【実施時期】令和2年8月26日、9月23日、10月28日、11月25日 【実施結果】各広場の整備に先がけ、必要な機能や施設、コンセプト等について意見交換を行った。	公共施設整備等の検討にあたり、必要に応じて市場調査やワークショップ等を実施し、ニーズの把握に努めていく。
地元住民及び地元企業によって設立された「特定非営利活動法人 寄居の緑と空間を楽しむ会」と協議を重ね、中央通り線の街路樹選定方針を決定した。	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】随時 【実施時期】令和2年度から令和4年度 【実施結果】「在来種の寄せ植え」という形で寄居らしさを表現することとした。	当該団体と締結した「寄居都市計画道路中央通り線における街路樹維持管理協定」に基づき、官民が連携して街路樹の維持管理を行っていく。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価庁内検討	関係課長 (都市計画課、建設課、上下水道課、プロモーション戦略課、産業振興企業誘致課)	令和5年11月17日	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1							
指標名		居住人口の社会増減数							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	都計3・1・25寄居駅南口駅前広場	○	寄居駅南口駅前広場、中央通り線、寄居駅南口駅前拠点施設・広場、賑わい創出交流広場等、住環境の充実に資する施設整備を行うとともに、寄居駅周辺地区の特性を生かしたまちづくりの情報発信等を積極的に行ったことが、目標値の達成につながっている。						
	都計3・4・5中央通り線	○							
	町道3967号線	○							
	寄居第1処理分区汚水枝線	○							
	賑わい創出交流広場	○							
	駅前拠点広場	○							
	自転車駐車場	○							
	観光案内板設置	—							
	路地を活かした散策ルート整備	○							
	電線地中化(都計3・4・5中央通り線等)	○							
駅前拠点施設	○								
提案事業	まちなか住宅団地整備支援事業	○							
	まちなか住宅取得支援事業	○							
	まちなか出店支援事業	○							
	事業効果分析事業	—							
関連事業	駅前ショッピングセンター施設活用事業	△							
	大型商業施設出店事業	○							
	川の国埼玉はつらつプロジェクト	○							
	鉢形城公園整備事業	○							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	住環境の充実に資する施設整備を行ったことにより、寄居駅周辺地区の魅力向上を図ることができたため、今後は良好な住環境の維持・創出に向け、本事業で整備した施設の適切な維持管理を行うとともに、町内外へ町の魅力を積極的にPRし、当該地区への居住促進を強化する。				
-------	--	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2													
指標名		歩行者・自転車交通量													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類		
基幹事業	都計3・1・25寄居駅南口駅前広場	△	新型コロナウイルスまん延防止による外出自粛並びに各種イベント等の中止の影響を受けたことにより、調査対象地区の歩行者・自転車交通量が減少したため、目標値を下回る結果となった。	II											
	都計3・4・5中央通り線	△													
	町道3967号線	△													
	寄居第1処理分区汚水枝線	△													
	賑わい創出交流広場	△													
	駅前拠点広場	△													
	自転車駐車場	△													
	観光案内板設置	—													
	路地を活かした散策ルート整備	△													
	電線地中化(都計3・4・5中央通り線等)	△													
駅前拠点施設	△														
提案事業	まちなか住宅団地整備支援事業	△													
	まちなか住宅取得支援事業	△													
	まちなか出店支援事業	△													
	事業効果分析事業	—													
関連事業	駅前ショッピングセンター施設活用事業	×													
	大型商業施設出店事業	△													
	川の国埼玉はつらつプロジェクト	△													
	鉢形城公園整備事業	△													

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 —：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	アフターコロナにおいては、寄居駅周辺地区における歩行者・自転車交通量の回復がある程度は見込まれるが、本事業で整備した施設及び既存公共施設を十分活用し、当該地区における観光力及び回遊性を高め、「観光による賑わいの創出」を実現させる。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価庁内検討	関係課長 (都市計画課、建設課、上下水道課、プロ モーション戦略課、産業振興企業誘致課)	令和5年11月17日	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
寄居駅南口へのアクセス道路 が狭く一方通行となっており、 バスなどの大型車両が乗り入 れ出来ないことから、交通結 束機能が低下している。	寄居駅南口駅前広場及び中央通り線を整備したことにより、交通結束機能の向上を図ることができた。	特になし	特になし
大型商業施設の出店に伴い、 交通量の増加が予想される町 道が未改良の状況である。	当該町道の改良が完了したことにより、交通量増加への対応が可能となった。	当該町道の安全性及び利便性を更に高めるため、附帯する未買収の用地については、今後も継続して交渉を進めていく。	
人口減少・高齢化に伴い地区 内の賑わいが失われつつあり、 魅力あるコンパクトな市街 地の形成が必要である。	・寄居駅周辺地区の賑わい創出及びコンパクトシティ化を図るため、当該地区への住み替えに対する支援(まちなか居住促進補助金)を行った。 ・本事業による施設整備により、良好な居住環境が形成された。	寄居駅周辺地区への居住促進を強化するとともに、良好な居住環境の維持・創出に向け、本事業で整備した施設の適切な維持管理を行っていく。	
観光資源が点在しているた め、観光機能の再整備及び観 光ルートを設定し、観光力の 強化を図る必要がある。	・寄居駅南口周辺地区の観光分野におけるインフラ整備が完了したことにより、観光来訪者が増加している。 ・寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場が季節の祭事や各種イベントで利用されるようになったため、地元住民と観光来訪者の交流の機会が創出された。	本事業で整備した施設や既存公共施設の特性を生かした観光ルートの構築及び観光資源の開拓を進めていく。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	寄居駅周辺地区への居住促進	本事業で整備した施設や既存公共施設において、利用しやすい環境・サービス提供に向けた適切な維持管理を行うとともに、まちなか居住促進事業に関するPR強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の適切な維持管理 居住促進事業に関するPR強化(周知方法の見直し) 住環境改善に向けたニーズの把握 まちなか居住促進補助金(住宅取得支援)
	地元住民と観光来訪者の交流促進	寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場を積極的に活用し、地元住民と観光来訪者の交流促進を図る。	寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場の利用促進事業

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	観光ルートの構築及び新たな観光資源の開拓	本事業で整備した施設や既存公共施設の特性を生かした観光ルートを構築するとともに、観光資源の開拓を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> 寄居駅南口駅前拠点施設・広場及び賑わい創出交流広場の利用促進事業 路地を活かした散策ルートの活用方法検討 町内観光イベント等の企画及び実施 交流イベント等の実施支援

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

特になし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	居住人口の社会増減数	人	-14	H24からH28の平均	+6	H30からR4の平均	確定	●	+9.6	○	あり	→			
							見込み				なし				
指標2	歩行者・自転車交通量	人/日	平日5,824 休日5,591	H27	平日6,373 休日6,173	R4	確定	●	平日4,433 休日3,627	×	あり	→			
							見込み				なし ●				
指標3							確定				あり	→			
							見込み				なし				
指標4							確定				あり	→			
							見込み				なし				
指標5							確定				あり	→			
							見込み				なし				
その他の数値指標1							確定					→			
							見込み								
その他の数値指標2							確定					→			
							見込み								
その他の数値指標3							確定					→			
							見込み								

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標・成果の達成	うまくいった点	特になし	次期計画を策定する際は、社会情勢等を考慮した指標及び目標値の設定が望ましい。
	うまくいかなかった点	指標2「歩行者・自転車交通量」については、新型コロナウイルスまん延防止措置の影響を受けたため、計測した評価値と目標値の比較が単純にできなかった。	
数値目標と目標・事業との整合性等	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	
住民参加・情報公開	うまくいった点	・寄居駅南口駅前広場、寄居駅南口駅前拠点広場及び賑わい創出交流広場整備の過程で、地域住民等が参加するワークショップを開催し、必要機能や施設、コンセプト等を検討したことにより、町民のまちづくりに対する意識を高め、町民にとって愛着のある施設を整備することができた。 ・「特定非営利活動法人 寄居の緑と空間を楽しむ会」と締結した「寄居都市計画道路中央通り線における街路樹維持管理協定」に基づき、官民が連携して街路樹の維持管理を行うこととなったことにより、民間活力の活用及び民間意見を反映させたまちづくりを推進することができた。	住民参加は円滑な事業推進だけでなく、住民のまちづくりに対する意識の醸成と、事業完了後の継続的な施設活用や維持管理等に効果的であり、今後も住民自らが積極的にまちづくり活動に参加できる環境を整備していくことが求められる。
	うまくいかなかった点	特になし	
PDCAによる事業・評価の進め方	うまくいった点	特になし	数値目標に対する進捗状況の確認は、事業の実施方法等の検証を行う上で有効であることから、取り入れていくことが望ましい。
	うまくいかなかった点	事業期間中において、数値目標に対する進捗状況や成果等を確認し、事業の実施方法等の再検証をする場を設けることができなかったため、PDCAを取り入れた事業推進ができなかった。	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- 今後の都市再生整備計画事業の活用予定
男衾地区の住環境を整備するため、都市再生整備計画事業を活用する。
- 今後、事後評価を予定している地区
令和11年度に男衾地区において事後評価の実施を予定している。当地区の事後評価の経験を踏まえて、効果的・効率的に実施する。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町公式ホームページに掲載	令和5年12月1日～12月28日	同左	都市計画課への郵送、 FAX、電子メール、都市 計画課窓口での意見書 の提出	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口で縦覧	令和5年12月1日～12月28日	同左		

住民の意見	特になし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員		令和6年3月4日	都市計画課	寄居町社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱	—
その他の委員	副町長 総合政策課長 建設課長 都市計画課長 上下水道課長				

審議事項		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	特になし
	実施過程の評価	特になし
	効果発現要因の整理	事後評価シートに記載のある「特性」「魅力」とは何か、具体的な記述があるとわかりやすいという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	特になし
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きの進め方が妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	事後評価シートに記載のある「特性」「魅力」を評価する具体的な言葉で町をPRするキーワードがあると、居住促進を強化する取組みの一つになると思うという意見があった。
	フォローアップ	特になし
	その他	整備した公共施設を十分に活用し、より賑わいを創出できるよう工夫を重ねてほしいという意見があった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策が妥当であることが確認された。
その他	特になし	

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--